

様式第1号

会 議 録

会議の名称	平成29年度 第2回 所沢市総合教育会議
開催日時	平成29年12月20日(水) 午後3時30分から午後5時00分まで
開催場所	市役所6階 602会議室
出席者の氏名	所沢市長 藤本 正人 教育長 内藤 隆行 教育長職務代理者 大岩 幹夫 教育委員 吉本 理、教育委員 中川 奈緒美 教育委員 寺本 彰、教育委員 清水 国明
欠席者の氏名	
説明者の職・氏名	
議題	(1)大綱について (2)その他
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1「所沢市教育大綱(案)」 ・資料1-2「所沢市教育大綱(案)」《修正版》 ・資料2「所沢市教育大綱(案)について」 ・資料3「所沢市教育大綱(案)への想い」 ・資料3-2「所沢市教育大綱(案)への想い」《修正版》
担当部課名	<p>経営企画部：平田部長、粕谷次長 企画総務課：内野課長、菅原主幹 教育総務部：美甘部長、師岡次長 教育総務課：千葉課長、青木主査 学校教育部：田中部長、岩間次長</p> <p>経営企画部企画総務課 電話 04(2998)9046</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p data-bbox="225 443 316 472">事務局</p> <p data-bbox="225 909 288 938">議長</p> <p data-bbox="225 1458 344 1487">中川委員</p>	<p data-bbox="534 293 1230 322">議長である藤本市長の進行により議事が進められた。</p> <p data-bbox="512 398 778 427">(1) 大綱について</p> <p data-bbox="534 443 1050 472">事務局からの説明が以下のとおりある。</p> <p data-bbox="505 488 1361 640">「資料 1-2」は、教育大綱（案）の本文になりますが、事前送付した「資料 1」と変更があります。上から 3 行目の「烈風の中に置かれても、耐えて逞しく、奮って勇ましく」の後に「時に凌いで」を追加したものです。</p> <p data-bbox="544 656 1310 685">「資料 2」は、大綱の根拠や考え方などを示したものです。</p> <p data-bbox="505 701 1361 853">「資料 3-2」は、前回の会議での委員の皆様から頂いた意見をもとに解説のようなものとして、「大綱への想い」として作成したものです。なお、「資料 3」との違いは、「資料 1-2」と同様に「時に凌いで」を追加したものです。</p> <p data-bbox="505 909 1361 1193">前回会議で意見をいただきまして、「鍛える」というイメージが全面に出ているということや、立ち向かっていくだけではないのではないかという意見を受けて、「時に凌いで」を入れることによってそれだけではないということとしました。また、「範を示す」にも具体的な例示があった方がよいのではないかということでしたが、ここに入れるのは難しかったのでそのままとしました。</p> <p data-bbox="505 1209 1361 1361">また、解説のようなものがあればいいという意見もありましたし、頂いた意見を大綱本文に入れるのではなく解説という形であれば理解されるのではないかということで、「大綱への想い」を作成しました。</p> <p data-bbox="534 1377 1257 1406">ご質問等がありましたら、挙手をもってお願いします。</p> <p data-bbox="505 1462 1361 1574">藤本市長の思いが伝わってくる文章でしたので、その良さを伝えるために、それを大事にしながら、和らげた案を作成しましたので、ご覧いただけますか。</p> <p data-bbox="544 1590 703 1619">(一同了承)</p> <p data-bbox="544 1635 762 1664">(代替案の配布)</p> <p data-bbox="534 1680 694 1709">説明します。</p> <p data-bbox="505 1724 1361 2009">「所沢市は真に子どもを大切にすまちとなろう。」の「真に」を削除しました。この言葉には、本当に知っているのか、というようなイメージがあり、いわゆる「上から目線」のように感じたためです。その次に、一番言いたいエッセンスである、「大切にすとは、子ども自身の力を信じることだ。」を持って来ました。これは、(原文には)「じゃない」という否定形が来ていますが、肯定形を先にしたことで、共感が得られるのではないかと思った</p>

	<p>からです。その次に「烈風」が唐突に出てきた感があったので、必然性を持たせるために「順風満帆」を入れました。「烈風」に対応する言葉として、「凧」という、風も無く、何処にも行けないという意味を持たせました。立ち止まったりしてもいい、負けないようにするのだということとして、「励まし合って」を入れました。「助け合って」でもいいと思いましたが、この言葉が一番しっくりきたのでこれにしました。</p> <p>一番気を使ったのが、「なで回すことじゃない、奥にしまい込むことでもない」ですが、後ろにして、表現を和らげました。そして、大人も一緒に育っていくという表現としました。</p> <p>「目指す四つのこと」は、順番を入れ替えました。というのも一番最初にあるものに目が行くものです。第一印象が最初にある「心身の鍛錬」になってしまい、それ以降がかすんでしまうようなことが勿体無いと思い、大切な価値が必要という意味の「価値の提示」を最初にしました。それ以降は、言葉を変えた所もありますが、皆さんの意見をいただければと思います。</p> <p>「ふるさとの宝である子ども」は、私も好きな言葉なので、最後に持って来ることによって際立たせたいと思いました。最後の一文の「絆を深めながら」と「歩む姿」は、市長がいつも言っている「動け所沢、つむごう絆」を表現しました。全体的に共感するものばかりだったのですが、ストレートに表現しても伝わらないという経験もしてきたので、わかりやすく、入ってくるような表現にしてみました。以上が私の考えたことです。</p>
大岩教育長職務代理者	大綱を決める時期は、いつまでですか。
事務局	策定時期は、特にこだわっていません。この総合教育会議で協議されて、終結されることがよいと考えます。
議長	<p>私もいつまでということにこだわっていません。</p> <p>中川委員に出していただいた代替案そのままでよいと思います。否定形を先に持ってこないというのも理解できますし、内容的にも変わっていませんので。</p>
清水委員	藤本市長がどこまで中川委員の意見を取り入れるかということだと思います。内容的に変わらないのであれば、藤本市長の顔が見えるもののほうが良いのではというのが私の意見です。
寺本委員	<p>「目指す4つのこと」について、順番を変え、最初に「価値の提示」があって、他の3つはその後にくるのが良いと思います。</p> <p>また、否定形を先に持ってこないというのも良いと思います。</p> <p>資料1-2をベースに、「目指す4つのこと」の順番の入れ替えと、</p>

大岩教育長職務代理者	<p>「なで回すことじゃない」等の否定形の位置を変えれば、あとは原案のとおりで良いと思います。</p>
	<p>「資料3-2 所沢市教育大綱(案)への想い」は委員の意見を少しでも吸い上げるために作ったわけですが、どういう位置づけになるのでしょうか。文字が多ければ多いほど「想い」への議論が起こり、大綱そのものの意義が薄れてしまうことが考えられるので、なくてもよいのでは。</p> <p>また、「大人は憧れの存在となるべく、範を示していこう。」という部分については、本当に大人は自信をもって子どもに範を示せるか。子どもだけにいろいろなことを求めておいて、大人は範を示すほどできているのだろうかと思います。中川委員の案の「子どもたちとともに育っていこう」なら良いのではないかと思うので、採用していただきたい。</p>
議長	<p>「所沢市教育大綱(案)への想い」は、なくても良いということであれば、なくて良いと思います。市民の皆様にご説明する時に使う想定ですが、これがあるとこれに対して意見が出てしまうということもあります。</p> <p>まず、中川委員の案で、「目指す4つのこと」の順序について、「価値の提示」を1番はじめにしていますが、そのような形にするということで皆さんいかがでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p>
議長	<p>次に、「基礎知識の養成」を「基礎学力の養成」にするというのはどうでしょうか。</p>
教育長	<p>文部科学省でも、「学力」は、ただ学ぶということだけでなく、課題の解決力など幅広く捉えているので良いと思います。</p>
議長	<p>では、「基礎知識の養成」を「基礎学力の養成」にするということではよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
議長	<p>「経験の蓄積」の内容についても、中川委員の案でも意味は同じなので良いと思いますが。</p>
寺本委員	<p>「経験の蓄積」だけ、主語が子どもになり、その他の3つについては大人が主語になると思われます。統一しても良いですし、このままでも良いとは思いますが、どうでしょうか。</p>

中川委員	<p>大人が主語となる内容が続いた後に、子どもが主語となることで、主体性が感じられるということもあるかもしれません。</p>
議長	<p>では、主語は統一しないことにしましょう。「生きた経験」という表現のほかに、もっとこういう表現が、というものはありますか。</p>
教育長	<p>「生きた経験」というのは良い表現だと思います。同じことを経験しても、影響の仕方はそれぞれ違って良いし、体験したことが、子どもにとって大小さまざまな影響がある。</p> <p>「耐えて逞しく、奮って勇ましく、時に凌いで、」については、強い言葉が続きすぎている感もあり、「耐えて逞しく、時に凌いで、」くらいのほうが、言葉のリズム的にも良いように思われます。</p>
議長	<p>「時に凌いで」が入ったことで重くなっているかもしれません。「奮って勇ましく」を削るという考えもあると思います。</p> <p>また、「時に凌いで」については、案として「時に凌ぎ」という言い方もあったので迷ったのですが、音読した時に「時に凌いで」のほうが良いように思いました。</p> <p>「奮って勇ましく」については削るということによろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p>
寺本委員	<p>「大切にする」の部分については、中川委員の案であれば、否定の表現が冒頭に続かないので良いと思います。その後は、原案の通り「烈風の中に置かれても・・・」としたらいかがでしょうか。</p>
議長	<p>そうすると、「信じることだ」という表現が重なってしまいます。</p>
中川委員	<p>「子ども自身の力を信じることだ。」という表現は繰り返しても良いのではないのでしょうか。</p>
寺本委員	<p>「子ども自身の力を信じることだ。」ということが所沢市の教育のメインテーマだという理解で、繰り返すのは決して悪くないと思います。</p>
議長	<p>では、そのような形でよろしいですか。また、中川委員の案のように、「所沢市は真に子どもを大切にするマチとなろう。」の</p>

議長	<p>「真に」は削除したいと思います。</p> <p>(一同了承)</p> <p>前半部分については、「所沢市は、子どもを大切にするマチとなろう。「大切にする」とは、子ども自身の力を信じることだ。烈風の中に置かれても、耐えて遅しく、時に凌いで、みずからの生を謳歌せんとする子ども自身の力を信じることだ。」というかたちで良いですか。</p>
議長	<p>(一同了承)</p> <p>では、その後の部分はいかがでしょう。</p> <p>「それには愛情の裏づけがなくてはならない。」からの2行については原案どおりで良いですか。</p>
大岩教育長職務代理人	<p>(一同了承)</p> <p>その後については、中川委員の案の「ただなで回したり…」を採用して、「目指す4つのこと」の順序を先ほどのとおり入れ替えて、最後の3行も中川委員の案で良いのではないのでしょうか。</p>
寺本委員	<p>原案にあった「なで回すことじゃない。」という表現、「…じゃない」という言い回しが大綱に入っていることに魅力を感じます。</p>
議長	<p>では、「なで回すことじゃない。」の所は、残しますか。</p>
中川委員	<p>その部分は、「大切にすると、子ども自身の力を信じることだ。」の後に入れてはいかがですか。</p>
教育長	<p>そうすると、一行目の「真に」は入れておいた方がよいのではないのでしょうか。強い意思としての意味があり、「なで回す」につながるような気がします。</p>
清水委員	<p>2行目は、「大切にすると、子どもを信じることだ。」にして、その後に「なで回すことじゃない」を入れて、続けた方がよいと思います。そして、(その段落の)最後でも「子ども自身の力を信じることだ」で締めた方が「自身の力」が引き立つと思います。</p>

議長	<p>それでは、その形にして良いですか。</p> <p>(一同了承)</p>
議長	<p>「真に」は、どうしますか。</p>
中川委員	<p>確かに、「真に」があるとインパクトがありますけど、きつい言葉に感じると思います。</p>
議長	<p>では、それについては、後ほどにして、そこまでの文は以下のとおりで良いか確認します。</p> <p>「所沢市は、子どもを大切にするマチとなろう。「大切にする」とは、子どもを信じることだ。なで回すことじゃない。奥にしまい込むことでもない。烈風の中に置かれても、耐えて逞しく、時に凌いで、みずからの生を謳歌せんとする子ども自身の力を信じることだ。そこには愛情の裏づけがなくてはならない。覚悟がなくてはならない。命を尊ぶ誓いがなくてはならない。豊かな自然がなくてはならない」でいかがですか。</p> <p>(一同了承)</p>
議長	<p>その後はどうしますか。</p>
寺本委員	<p>「ふるさとの宝である子どもたちが堂々と社会に躍り出ていくその日まで、大人たちは深い愛情と覚悟をもって、子どもたちとともに育っていこう。」というように、中川委員のものと市長の原文を足す形ではいかがでしょうか。</p>
中川委員	<p>そうすると、その前の段落の「それには愛情の裏づけ」と「覚悟がなくては」の文と重なりませんか。それを最後の段落としたものですから。</p>
寺本委員	<p>私も重なるのがちょっと気になります。</p>
議長	<p>ここで自然のことを出したのは、私は常に人と人との絆と人と自然との関係を大切にしていると言っていますので、ここに「豊かな自然」を入れたのです。</p>
寺本委員	<p>もし「豊かな自然」を入れるとしたら、「子どもたちとともに育っていこう。」の前に入れてはいかがですか。ただそうすると、「命を尊ぶ」の入るところが難しいですね。</p>

議長	「…じゃない」の4つは、そのままいいですか。
教育長	私は、韻を踏んでいるものなので、そのまま良いと思います。
大岩教育長職務代理者	「豊かな自然」は、当たり前と言えば当たり前なので、取ることも良いのでは。
寺本委員	価値の提示の「生きる指針」の前に「命を尊ぶ」を入れては。
吉本委員	「命を尊ぶ」の命が、人の命だけではなく、生命体、例えば動物や虫などの命にまで及ぶということでは、意味合いが違ってくるのではないのでしょうか。生命体の全ての命を尊ぶということではいかがでしょうか。
清水委員	ここの4つの「…ならない」は、教育に大切なことを言っているような形なので、このままで良いと思います。
大岩教育長職務代理者	全体が命を尊ぶことを述べているので、改めて言わなくても良いのではないのでしょうか。
中川委員	これだと自然に生かされているという謙虚な気持ちが伝わってこない気がします。
議長	では、「命を尊ぶ誓い・・・」の所は、削除しますか。
教育長	これは、様々な虐待にも通じると思うし、教育の上で、まずはこれが大切であるということや、いわゆる殺生してはいけない、自分の命も人の命も大切だということなので、このままで良いと思います。
寺本委員	その「愛情の裏づけ」と「覚悟」については、中川委員の案にもあるので、重なってしまうのではないのでしょうか。
議長	中川委員の案の前段の最後の一文にある、「深い愛情と覚悟をもって」を変更してはいかがですか。
教育長	教育の原点は、家庭教育であると考えます。また、地域や自然の中で学ぶ社会教育もあると思います。それらを勘案するとこの誓いは大切であると思います。しかも、市長らしいと思います。
中川委員	命や自然は授かっているものだと思います。生きるために自然が必要というよりも、自然の中で生かされていると思いますの

	<p>で、そのように表現できたらと思ったのです。でも、そうすると市長らしさがなくなってしまうとも思っています。</p>
寺本委員	<p>「命を尊ぶ誓い」と「豊かな自然」の所は、否定形ではない形が良いと思うのですが、これらの言葉はどこかに活かしたい気がします。</p>
中川委員	<p>シンプルに「命を尊び自然に感謝しよう」みたいな表現でも良い気がします。禁止型を使わないようにしたいのですが。</p>
大岩教育長職務代理者 清水委員	<p>そうするとこの文章のパワーが無くなってしまう気がします。</p> <p>文章の好みとセンスは、人それぞれですから、変えようとするときりが無いと思います。ですから、市長が書かれたものがすごく良いと思っています。「なくてはならない」は、否定形というよりも勧めている否定であるし、ここは教育する人に対する言葉なので、これでいいと思います。</p> <p>中川委員の最後の一文にある、「深い愛情と覚悟をもって」を「豊かな自然の中で」にして、それまでは、先程市長が読み上げたままでいいと思います。</p>
大岩教育長職務代理者	<p>それだと、「自然の中で育っていこう」となるので、意味が変わってくると思います。</p>
寺本委員	<p>ここは、先程あったようにリズムのあるリフレインとなっているので、このままにして、「愛情の裏づけ」の前にある「それには」を「そこには」として、「命を尊ぶ」の前に「それには」を入れてはどうですか。</p>
大岩教育長職務代理者	<p>今までの意見を理解したと思いますので、後は市長と事務局に任せて、検討していただき、次回の会議で決めてはいかがですか。</p>
教育長	<p>せっかく議論してきたので、前半は先程のままで良いと思います。</p>
大岩教育長職務代理者	<p>「豊かな自然」の行き先をどこにするかくらいではないでしょうか。</p>
寺本委員	<p>ただ、事務局と市長と検討する中で大幅な位置の差し換えもフリーということで、全体のバランスというのがあるので、あまり決めつけられない方が良いです。</p>

大岩教育長職務代理者 寺本委員	<p>次回、今回の会議の内容を事務局でまとめて、案を二つ、三つ提示してもらえば良いのではないのでしょうか。</p> <p>それを市長に決めてもらって、次回としましょう。</p>
議長	<p>最後の「大人たちは深い愛情と覚悟をもって」が上と重なるからと思ったが、上の「…なくてはならない」の所も良いということなので、最後の一文をどうするかですね。</p>
教育長	<p>できれば、原案の持つ雰囲気を残して、エッセンスと言うかコンセプトは残して欲しいと思います。市長の顔が見えるという意見がありました。まさにそのとおりだと思います。</p>
大岩教育長職務代理者	<p>似たようなものを作るのではなくて、大きく変えたものを用意してもらった方がよいと思います。</p>
事務局	<p>それでは、事務局でいくつか作成して、市長が確認した上で、次回提示したいと思います。</p>
議長	<p>ご意見をいただき、ありがとうございました。かなり、まとまってきたと思います。では、次回とします。</p> <p>「その他」は、何かありますか。</p>
教育長	<p>例年、この時期には、教育委員会の皆さんで市長に対して予算の確保についてお願いしていた経緯があります。この総合教育会議が発足してからは、それは無くなりましたが、せっかくの機会ですから、代表して、来年度の予算の確保については、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
事務局	<p>事務局からですが、次回の会議は、2月若しくは3月に開催したいと思います。改めて通知いたしますので、よろしくお願ひ致します。</p>
議長	<p>これで本日の会議を終了とします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>